世界知的所有権機関
国際事務局

PCT

特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(51) 国際特許分類 6
A47L 9/14

A1

(11) 国際公開番号 WO 95/16383

(43) 国際公開日 1995年6月22日 (22.06.95)

(21) 国際出願番号 PCT/JP94/02119
(22) 国際出願日 1994年12月16日(16. 12. 94)

(30) 優先権データ
特願平5/316284 1993年12月16日(16. 12. 93) JP

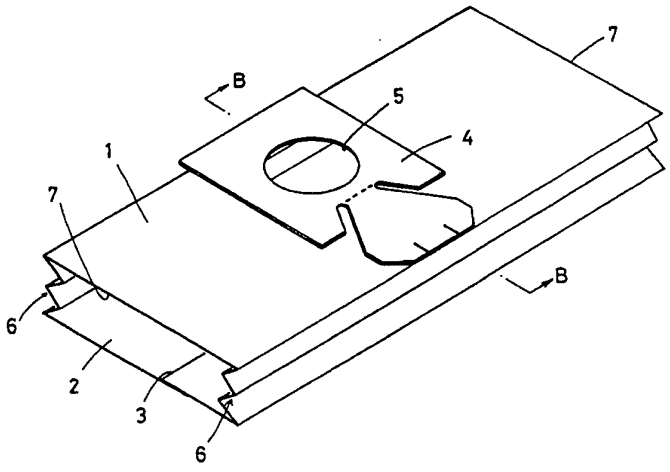
(71) 出願人
株式会社 日立製作所(HITACHI, LTD.)〔JP/JP〕
〒101 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地 Tokyo, (JP)
日新製袋株式会社(NISSHIN SEITAI, CO., LTD.)〔JP/JP〕
〒768 香川県観音寺市観音寺町甲3428番地-4 Kagawa, (JP)
(72) 発明者
佐川好市(SAGAWA, Kouichi)
〒316 茨城県日立市森山町2-31-3 Ibaraki, (JP)
山下忠志(YAMASHITA, Tadashi)
〒768 香川県観音寺市高屋町779-6 Kagawa, (JP)
(74) 代理人
弁理士 高田幸彦(TAKADA, Yukihiko)
〒317 茨城県日立市幸町二丁目1番48号 Ibaraki, (JP)

(81) 指定国
CN, JP, KR.

添付公開書類 国際調査報告書

(54) Title : DUST COLLECTING PAPER BAG FOR VACUUM CLEANER

(54) 発明の名称 電気掃除機用集塵紙袋



(57) Abstract

A dust collecting paper bag for a vacuum cleaner, wherein a base paper is joined to form a cylindrical body having a top surface portion (1) and a lower surface portion (2). Then, right and left portions of the cylindrical body are folded to make the cylindrical body flat. Right and left fold gazettes (6) have their fold positions displaced in a widthwise direction from one another. Displaced positioning of gazette folds of the dust collecting paper bag for vacuum cleaners makes end flaps of the cylindrical body overlapping smooth to make joining and sealing perfect.

（５７）要約

電気掃除機用の集塵紙袋の構造が開示されている。原紙が筒状体に接合され、上面部１と下面部２が作られる。次に、その左右が折り畳まれ扁平にされる。左右の折目ガゼット６は、互に折目位置を幅方向にずらして設けられている。

電気掃除機用集塵紙袋のガゼット折目の位置をずらすことによって、筒状体の端部折り返しの重なりがなめらかとなり、接合密封が完全になる。

情報としての用途のみ
ＰＣＴに基づいて公開される国際出願をパンフレット第一頁にＰＣＴ加盟国を同定するために使用されるコード

AM	アルメニア	EE	エストニア	LK	スリランカ	RU	ロシア連邦
AT	オーストリア	ES	スペイン	LR	リベリア	SD	スーダン
AU	オーストラリア	FI	フィンランド	LT	リトアニア	SE	スウェーデン
BB	バルバドス	FR	フランス	LU	ルクセンブルグ	SG	シンガポール
BE	ベルギー	GA	ガボン	LV	ラトヴィア	SI	スロヴェニア
BF	ブルギナ・ファソ	GB	イギリス	MC	モナコ	SK	スロヴァキア共和国
BG	ブルガリア	GE	グルジア	MD	モルドバ	SN	セネガル
BJ	ベナン	GN	ギニア	MG	マダガスカル	SZ	スワジランド
BR	ブラジル	GR	ギリシャ	ML	マリ	TD	チャード
BY	ベラルーシ	HU	ハンガリー	MN	モンゴル	TG	トーゴ
CA	カナダ	IE	アイルランド	MR	モーリタニア	TJ	タジキスタン
CF	中央アフリカ共和国	IS	アイスランド	MW	マラウイ	TM	トルクメニスタン
CG	コンゴー	IT	イタリー	MX	メキシコ	TT	トリニダード・トバゴ
CH	スイス	JP	日本	NE	ニジェール	UA	ウクライナ
CI	コート・ジボアール	KE	ケニア	NL	オランダ	UG	ウガンダ
CM	カメルーン	KG	キルギスタン	NO	ノルウェー	US	米国
CN	中国	KP	朝鮮民主主義人民共和国	NZ	ニュー・ジーランド	UZ	ウズベキスタン共和国
CZ	チェッコ共和国	KR	大韓民国	PL	ポーランド	VN	ヴィェトナム
DE	ドイツ	KZ	カザフスタン	PT	ポルトガル		
DK	デンマーク	LI	リヒテンシュタイン	RO	ルーマニア		

明 細 書

電気掃除機用集塵紙袋

技術分野

この発明は、扁平に折り畳まれた電気掃除機用集塵紙袋に関する。

背景技術

従来の電気掃除機用集塵紙袋は、一般に、長方形の原紙の両端縁が貼り合せされ、側面にガゼットが形成されるように筒状に折り畳まれている。この筒状の原紙の両端開口は数回折り返されて貼着密封され、かつ上面部には吸気口が設けられている。

ガゼットの折り返し部は、1回のみのものもあるが、一般には2～3回の折り返しがなされている。その場合もこの折り返し位置は全て同じ位置に設けられている。

しかしながら、上記ガゼットの折り返し部の位置を複数回の折り返しの際に同一位置に設けた場合、最終的に筒状体の両端を折り返して密封する際に、上記ガゼットの折り返し部の折り返し線が上下に重なる。

このため、筒状体の両端の折り返し部が極めて厚くなり、ガゼット折り返し部と折り返し部の間の筒状体両端折り返し部では薄くというように厚い部分と薄い部分ができ、両端折り返し部の接着が不完全となり、ピンホー

ルができて密封性が悪くなるという問題があった。

発明の開示

この発明の目的は、上述した従来の電気掃除機用集塵紙袋の問題点に留意して、複数段のガゼット折目を互に位置をずらして設け、筒状体の端部折り返しが部厚くならず完全に密封できるようにした集塵紙袋を提供することにある。

上記目的に対して、この発明は、原紙の両端縁を貼り合わせ、側面にガゼットが形成されるように筒状に折り畳み、この筒状の原紙の両端開口を折り返して貼着密封し、かつ上面部に吸気口を備え、上記筒状に折り畳んでガゼットを形成する際に、複数段のガゼットの折目位置を上下で同じ位置とならないようにずらした位置に設けて成る電気掃除機用集塵紙袋としたもののである。

この場合、前記ガゼットの折目回数を2段とすることができる。

また、前記原紙の両端縁を貼り合わせする胴貼部の位置をガゼットの折目位置からずらして設けるのが好ましい。

上記の構成としたこの発明の集塵紙袋は、従来のものと同様に電気掃除機本体内に装着して使用される。しかし、この集塵紙袋を作る際に、ガゼットの折目位置が幅

方向に互にずらして設けられているから、筒状体端部を折り返して密封するときでも端部の折り返しが部厚くならずなめらかに重ねられているため、折り返しの接着が完全に行われる。

上記のように、ガゼットの折目回数を2段としたり、あるいは前記原紙の両端縁を貼り合わせする胴貼部の位置をガゼットの折目位置からずらして設けることによって、集塵袋の厚みがかさばらないようにできる。

図面の簡単な説明

図1は、実施例の集塵紙袋の製造途中のものの斜視図である

図2は、同上の矢視B－Bから見た断面図である。

図3は、同上の完成状態の斜視図である。

図4は、変形実施例の矢視B－Bに相当する断面図である。

図5は、他の変形実施例の矢視B－Bに相当する断面図である。

発明を実施するための最良の形態

以下この発明の実施例について図面を参照して説明する。

図1は実施例の電気掃除機用集塵紙袋の製造途中の概略構造を示す外観図、図2はB－B矢視から見た断面図

である。

図示のように、この実施例の集塵紙袋は、原紙の左右の切断端を貼着して筒状体としたものが用いられる。1は上面部、2は下面部であり、B－B矢視に見えるように、接合部3で貼着される。上面部1には周知の板紙部材4が吸気口5の周辺に一体に貼着され、電気掃除機用本体内に取付けできるようにしてある。

筒状体は左右にガゼット6が設けられ、扁平に折り畳まれている。7は筒状体の端部である。この場合、B－B矢視の断面図に示すように、ガゼット6の折り畳み部は2回折りであるが、特に各折り畳み段毎に折目の位置が幅方向に対して互にずれて設けられている点に注目されたい。

このように折目位置をずらして折り畳んだ後に、筒状体の端部7はさらに折られてホットメルト等の方法により貼り合わされ密封される（図2参照）。

上記のように構成した実施例の集塵紙袋は、従来の一般的なものと同様に電気掃除機本体内に装着して使用される。

しかし、この実施例の集塵紙袋は、前述のように、ガゼットの折目位置が互にずらして設けられているから、筒状体の端部7を折り返して貼り合わせる際に、ガゼッ

トの折目が上下に重なることがない。従って端部の折り返しができる限りフラットな重なりとなり、この折り返しの貼着が滑らかに完全に行われる。

図４は、上記実施例の矢視Ｂ－Ｂに相当する他の実施例の断面図である。

この例では、ガゼットの折目がなす深い谷と浅い谷の部分が紙袋の上面部１と下面部２に対して上記実施例と反対に位置している点が異なる。このようにガゼットの折目位置は互いにずれていればよい。その他の点については第一実施例と同じである。

なお、上記実施例ではガゼットの折目段数は２段のものを示しているが、３段又はそれ以上であってもよいことは明らかであろう（図５参照）。

また、紙袋の原紙は便宜上１枚のものを示しているが二重の原紙等であってもよいことは勿論である。

以上、詳細に説明したように、この発明の集塵紙袋は複数段のガゼットの折目位置を互いにずらして設け、筒状接合部分３とガゼット部の重合をさけることによって筒状そのもの及び筒状体端部の折り返しが厚くならずフラットでなめらかな状態で接合され完全と密着され、製品が薄くなるため、包装袋の節約と保管場所が少なくなってすむと言う利点が得られる。

請求の範囲

1. 原紙の両端縁が貼り合わされ、側面に複数段のガゼットが形成されるように筒状に折り畳まれ、この筒状の原紙の両端開口が折り返えされて貼着密封され、かつ上面部に吸気口が備えられた集塵紙袋であって、上記複数段のガゼットの折目位置が上下で同じ位置とならないようにずれた位置に設けてあることを特徴とする電気掃除機用集塵紙袋。

2. 前記ガゼットの折目回数が2段になっていることを特徴とする請求の範囲第1項に記載の電気掃除機用集塵紙袋。

3. 前記原紙の両端縁を貼り合わせする胴貼部の位置がガゼットの折目位置からずれていることを特徴とする請求の範囲第1項に記載の電気掃除機用集塵袋。

図 1

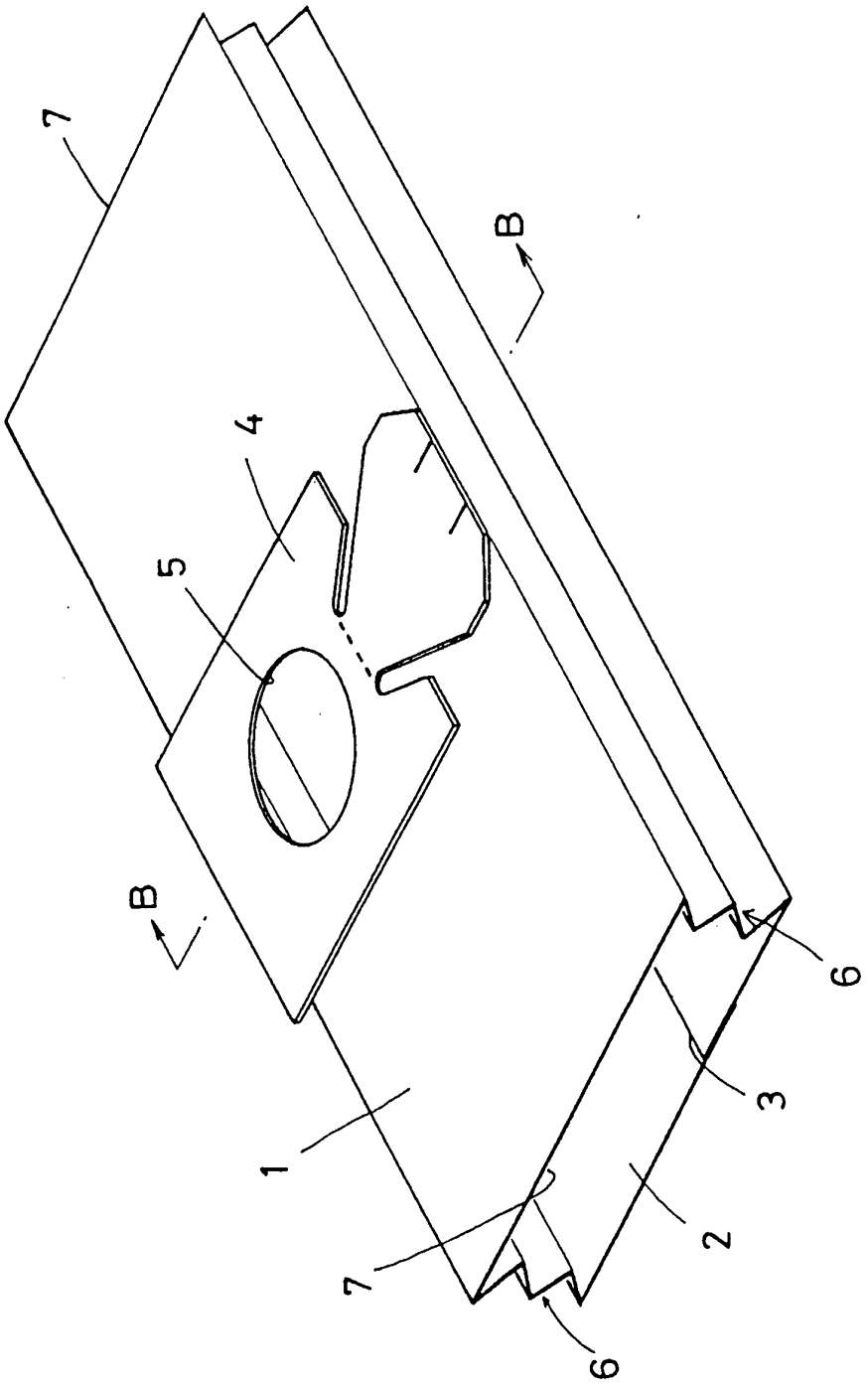


図 2

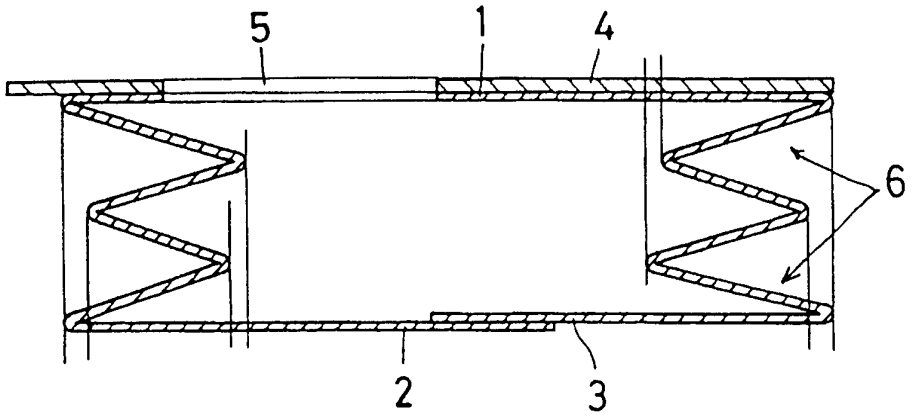


図 3

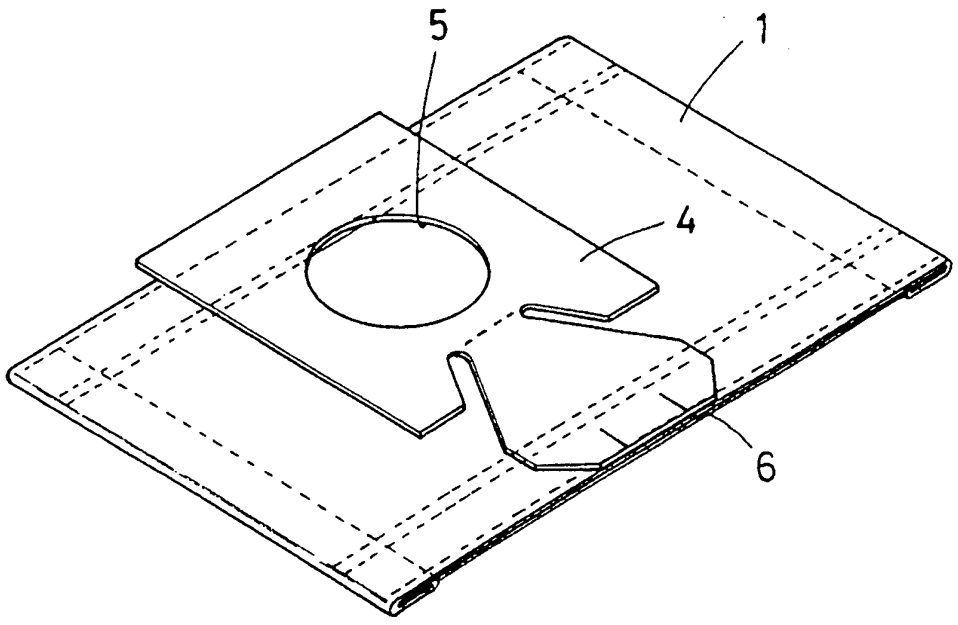


図 4

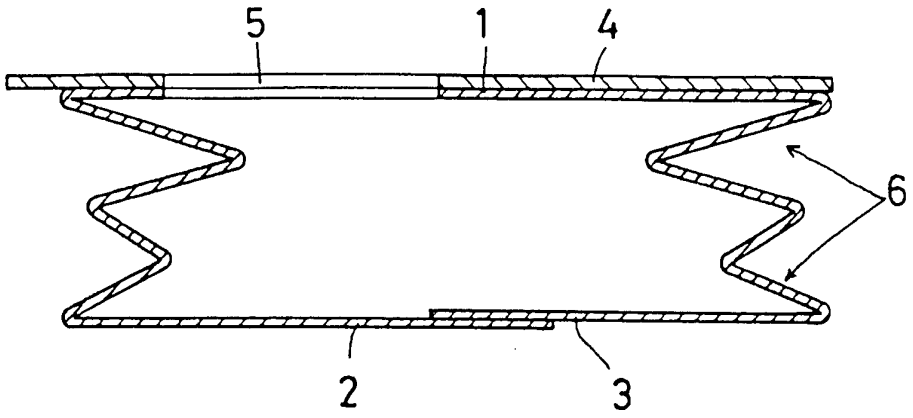
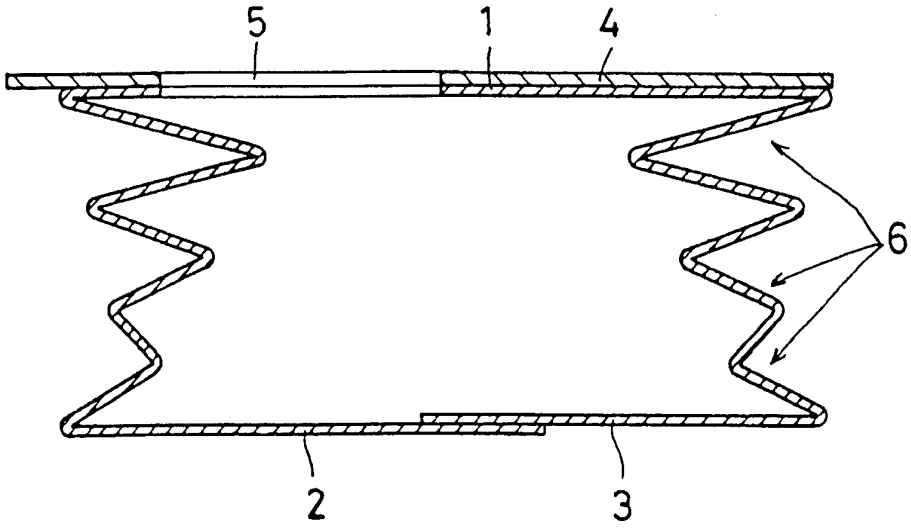


図 5



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP94/02119

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int. Cl^6 A47L9/14

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int. Cl^6 A47L9/14

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho 1926 - 1995
Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971 - 1995

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y	JP, Y2, 61-32611 (Nichipack K.K.), September 22, 1986 (22. 09. 86), Lines 2 to 9, column 1, drawings (Family: none)	1 2, 3
Y	JP, A, 2-302236 (Hitachi Ltd.), December 14, 1990 (14. 12. 90), Lines 3 to 9, lower left column,page 3, Fig. 2	2, 3

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier document but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search	Date of mailing of the international search report
February 1, 1995 (01. 02. 95)	February 21, 1995 (21. 02. 95)
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office Facsimile No.	Authorized officer Telephone No.

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (July 1992)

国際調査報告

国際出願番号 PCT/JP 94/02119

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC））

Int. Cl⁶ A47L9/14

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC））

Int. Cl⁶ A47L9/14

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1926－1995年
日本国公開実用新案公報 1971－1995年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献のカテゴリー＊	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求の範囲の番号
X Y	JP, Y2, 61－32611（ニチバツク株式会社）， 22. 9月. 1986（22. 09. 86）， 第1欄，第2－9行，図面（ファミリーなし）	1 2, 3
Y	JP, A, 2－302236（株式会社 日立製作所）， 14. 12月. 1990（14. 12. 90）， 第3頁，左下欄，第3－9行，第2図（ファミリーなし）	2, 3

☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。

☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

＊ 引用文献のカテゴリー
「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」先行文献ではあるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献
「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日
01. 02. 95

国際調査報告の発送日
21.02.95

名称及びあて先
日本国特許庁（ISA/JP）
郵便番号100
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）
杉野 裕幸 印
3B 7620

電話番号 03－3581－1101 内線 3320

様式PCT/ISA/210（第2ページ）（1992年7月）